

令和5年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

リズムック*トラベラーplus

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

自然の中で音楽を存分に楽しみ、心も体もリフレッシュする。自然物を使った楽器や電子打楽器などを実際に演奏し、様々な音楽体験ができる。

2. 事業の概要

(1) 共催 公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

(2) 期日

令和5年7月8日（土） 7月9日（日） 日帰り2日

(3) 参加者

① 募集対象・人数

チラシを学校で配布された小学生とその家族・各日15家族程度

② 参加人数 8日：13家族35人

9日：12家族44人

(4) 講師等

MASAKing 氏（ミュージシャン）

(5) 企画・運営のポイント

① 室内ばかりでの活動になるので、事前に自然物を集めておいて、楽器として活用するなど、自然に触れる機会を作ることとした。

② ハイブリッド打楽器アンサンブルとし、音楽室にある打楽器や自然の楽器、電子楽器に触れる時間を設けた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

7月8日（土）、9日（日）	
10:30	受付
11:00	開会式
11:15	アイスブレイク・電子楽器体験
12:00	昼食・休憩
13:30	ハイブリッド打楽器アンサンブル
15:00	ミニコンサート
15:45	閉会式

(2) 活動の状況



【電子楽器音楽アプリ体験】



【自然の楽器体験】



【打楽器体験】



【電子ドラム体験】

4. 成果・課題

(1) 満足度 満足：96% やや満足：4%

(2) 参加者の声

- ① 様々な楽器に触れることができるとても楽しかったです。またいろんなイベントに参加したいと思います。
- ② はじめて参加したけど、子どもたち、大人みんなで楽しむことができ、参加してよかったです。
- ③ 子どもがキラキラと目をかがやかせて、しかも1人で前に出てドラムをたたけて、成長を感じました。

(3) 成果

- ① 吉備の枯れ木や竹を楽器として使用したことで、自然物を使った楽器にも親んでもらえた。
- ② 打楽器を多く準備したことで、一人一つ楽器を演奏し、アンサンブルを行うことができた。

(4) 今後の課題

- ① 申込者数が伸び悩んだので、チラシを配布した学校だけに限るのではなく、誰でも申し込めるようにしても良いと考える。
- ② 電子楽器の人気が高いので、ハンドソニックなどの電子楽器をもう少し多く用意し、体験する機会を多くとる。

担当：企画指導専門職付 竹井 楓夏